

研究機関：広島大学

|        |   |
|--------|---|
| 研究課題名  | 肝細胞癌組織における歯周病原細菌 <i>Porphyromonas gingivalis</i><br>( <i>P.g.</i> )感染状況の検討  |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医系科学研究科 口腔顎顔面病理病態学<br>教授 宮内睦美  |
| 研究期間   | 2017年11月8日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日   |
| 対象者    | 2006年1月1日～2015年12月31日の間に、広島大学病院消化器・代謝内科を受診された成人の肝癌患者さんで、肝癌摘出術を受けた方。   |
| 意義・目的  | <p>非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)はメタボリックシンドロームの肝臓での表現型で、軽度の炎症を伴う病変から線維化を伴う病変に至る進行性疾患である。10～20%ものNASH患者が肝硬変や肝癌に移行するとされる。今後、肥満者の増加に伴いNASHやNASHを基盤とした肝癌患者の増加が予測され、世界的に深刻な健康問題となっています。</p> <p>一方で、歯周病は、世界で最も罹患率の高い感染症で、歯周病原細菌、特に、主な歯周病原細菌である <i>Porphyromonas gingivalis</i> (<i>P.g.</i>)が歯周炎病巣から血中に入り、全身に波及し、全身の健康状態に悪影響を及ぼすことが知られていますが、歯周病と肝細胞癌発症・進展の関連性は、未だ明らかではありません。</p> <p>我々は、肝臓への <i>P.g.</i>感染がNASHを基盤とした肝細胞癌発生を促進する可能性があると考えています。</p> <p>本疫学研究ではNASHを基盤とした肝細胞癌の手術材料を用い肝細胞癌組織において <i>P.g.</i>を免疫組織化学的に検出し、その感染率をC型肝炎関連肝細胞癌やアルコール性脂肪性肝炎(ASH)関連肝細胞癌と比較検討することによってNASHを基盤とした肝細胞癌の発症に <i>P.g.</i>感染が関与する可能性を明らかにすることを目的としています。</p> |
| 方法     | <p>本研究は、広島大学病院で2006年1月1日～2015年12月31日に手術を受けた患者さんの中で、非B非C型肝細胞癌(NASH関連肝癌を含む)患者50名、C型肝炎患者50名、ASH関連肝細胞癌患者50名を選定させていただきます。特に2006年以降の「病理標本の教育・研究利用について」同意をされた方の保管してある組織のパラフィン包埋材料を用い <i>P.g.</i>感染の免疫組織化学的解析と診療録(カルテ)情報を転記して行います。</p> <p>カルテから転記する内容は、年齢、性別などの基本事項と合併症(特にDM、脂質異常症、高血圧症)や生活歴(飲酒・喫煙)などの臨床データです。(個人が特定できる情報は転記致しません)。非B非C型肝細胞癌(NASH関連肝癌を含む)、C型肝炎患者、ASH関連肝細胞癌で <i>P.g.</i>感染率に違いがあるかどうかについて検討します</p>   |
| 共同研究機関 |   |

なし

**試料・情報の管理責任者**

広島大学医系科学研究科 口腔顎顔面病理病態学 准教授 宮内睦美

**個人情報の保護について**

データの収集と解析に際しては、個人情報に属するデータは扱わず、サンプル番号でコード化し、個人特定をできないようにして解析に使います。プライバシーの厳格な守秘に努めます。コード化と対照表保管は医系科学研究科で個人情報管理者が行います。サンプル番号化した後、個人を特定できないようにして解析を行いますので、個人情報が漏洩することはありません。

今回の解析に手術材料のパラフィン包埋材料とカルテから抽出した臨床事項を提供することを望まれない方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

**問合せ・苦情等の窓口**

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3

TEL082-257-5632/FAX082-257-5619

広島大学医系科学研究科 口腔顎顔面病理病態学 宮内睦美